

岐阜城跡織田信長居館とフロイスの記録

高橋 方紀（岐阜市文化財保護課）

The Residence of Oda Nobunaga in Gifu Castle and the Writings of Luís Fróis
TAKAHASHI Masanori (Gifu City Cultural Property Protection Division)

1. はじめに

岐阜城（稲葉山城）は濃尾平野と美濃山地の境界部分、長良川左岸にある金華山に築かれた山城で、大きく頂上付近の城郭施設からなる山上部と、城主の居館が存在した山麓部、そして岩山を活かした天然の要害である山林部から成り立っている。その西側には総構えを持つ城下町が広がっていた。

城郭利用される前の金華山は、古墳時代後期の円墳が確認されている他、古代以降伊奈波神社と密接に関係する信仰の山として知られており、山麓居館では中世の宗教施設に関わる遺物も確認されている。また稲葉山を呼んだ和歌が多く残されており、中世には景勝地としても知られていた。

江戸時代の伝承では建仁年間（1201-1204）に城が築かれたとされているが、考古学的には16世紀前半の斎藤道三の段階から城郭遺構が認められる。永禄10年（1567）、小牧山城よりここに居を移した織田信長は、入城後に大きく手を加える。天正4年（1576）に信長が安土城に移った以後、城主はめまぐるしく移り変わり、慶長5年（1600）の関ヶ原の戦いの前哨戦で落城、以後廃城となる。

江戸時代、金華山は尾張藩の「御山」となり、尾張藩主の御成や鹿狩等の場として管理される。その範囲は近代には宮内省の「御料林」、戦後には「国有林」に受け継がれている。また近代以降には岐阜公園と一体でレクリエーションを楽しむ憩いの山となるなど、城跡である金華山は廃城後にも新たな価値を付加しながら受け継がれてきた。城や城下町に関する文化財は、直接現代の街に継承されているものが多くあるが、金華山（岐阜城）は自然、信仰、景観、城郭、そ

して公園の価値が重層して現在に至っている点に特徴がある文化財といえる。岐阜城山麓の織田信長公居館跡の庭園については、すでに平成26年度の庭園の歴史に関する研究会で報告されている（井川2015）。本稿では井川報告に新しい発掘調査の成果を補足しつつ、ルイス・フロイスの書簡にみられる庭園の記述と合わせて、その様子を考えてみたい。

2. 発掘調査から見た山麓居館

山麓居館は中央を流れる槻谷の谷川と、その左右に段々に配置された平坦地から成っており、それぞれの平坦地は石垣や巨石列、巨石の石組みで区画されている。最下段から最奥部までの高低差は30m近くあり、谷状地形や周囲の岩盤を巧みに利用して、見せることを意識した立体的な空間を作り出していることが明らかになってきた。岐阜市ではこの城主居館跡について、昭和59年（1984）から断続的に調査を行っており、2007年度から2017年度には全体像を把握するための確認調査を実施した。

これまで行われた調査では戦国時代の遺構が大きく



図1 信長居館の地形復元模型と平成27年度調査位置

上層面と下層面に分けられ、基本的にはそれぞれの面が廃絶時に被熱していることが判明した。遺物の年代観や文献の記述等を勘案すると、上層面の廃絶は慶長5年（1600）の岐阜城廃城時、下層面の廃絶は永禄10年（1567）の信長による稲葉山城攻め時に対応する可能性が高く、信長の岐阜入城時に造成・改修が行われ上層面の遺構が構築されたようである。下層面は斎藤氏の居館に関する遺構に対応するものと考えられるが、部分的な調査であるため判然としない。

平成27年度の調査では、C地区の上層面の遺構について、拡張前と拡張後、2時期の石垣が存在することが判明した（図1）。拡張前の石垣の基盤となる整地層は不自然な階段状で、途中で途切れている。また、鍛冶・鋳造に関する遺物が出土し、工房等が存在していたことから、拡張前の段階では、屋敷として完成しておらず、工事途中に設計変更、大規模に敷地を拡張したことが明らかになった。以下、上層面の主要な遺構を紹介する。

（1）巨石列、石組み、石垣

岐阜城跡山麓部では3種類の石の構築物を見ることができる。要所に配された巨石列、谷川の石組み、平坦面を護岸する石垣である。

巨石列は、扁平な巨石を立て並べた構造物で、岐阜城の大きな特徴となっている。居館の入口部分の他、中心建物周辺に存在しており、地表に露出しているものもある。最も大きい石材は縦2.4m、横3.4mを測る。この巨石列は信長入城後に構築された部分であり、見る者を威圧し権力を誇示する装置であったと考えられ

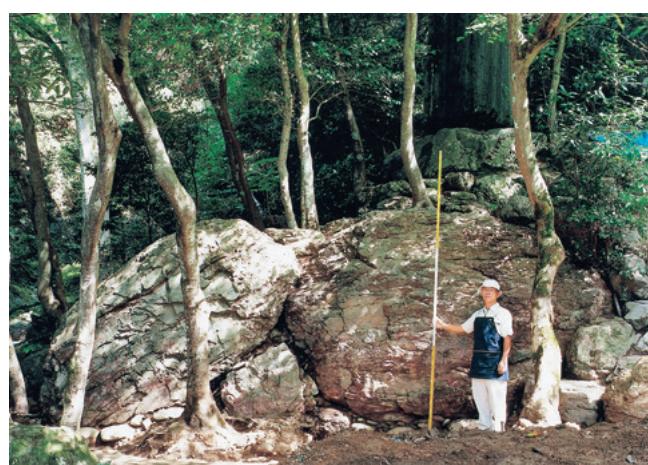


図2 山麓居館最大の巨石列（西から）

るが、周囲の岩盤も巨石のように加工されている箇所もあり、「見せる」意識は全体に及んでいたとみられる（図2）。

巨石石組みは、谷川の滝よりも上流、B地区の谷川護岸に使われているもので、1～3mの不揃いの大形の石材を積み上げて構築している。この谷川自体を巨大な庭園の流れと捉えた場合、確認された各平坦地の庭園はその一部とみることもできるだろう。

石垣は平坦部の各所で見つかっているが、廃城後の「城割り」により石材が持ち出されているよう、基底部から数段分しか残っていない。人目に触れる部分については意図的に大形石材を使用しているようである。

（2）庭園跡

庭園跡の確認は2007年度からの調査における最も大きな調査成果である。居館の最奥部にあたるBⅢ区では、東西約5m、南北7mの池の跡が見つかっており、池底には白い砂が敷かれていた。

また谷川の北側にある平坦地（A地区）では、巨大な岩盤とその上から流れ落ちる2本の滝を背景にした庭園が見つかった。岩盤の高さは約35mを測り、滝の水を受ける箇所には石敷きがみられる。平坦地中央には南北約20m、東西約20mの大きな池があり、池の汀には石垣や石列、川原石を敷き詰めた州浜が確認されている。池の南と北側には亭のような建物があったようである。

C地区では東端で巨石を背景とした庭園が見ついている他、南側斜面の下で複数の池が見つかりつつある。2次調査（美術館地点）で確認された石敷きも庭園に関する遺構と考えられる。



図3 C地区西斜面の庭園（北西から）



図4 庭園北側の水路（北西から）

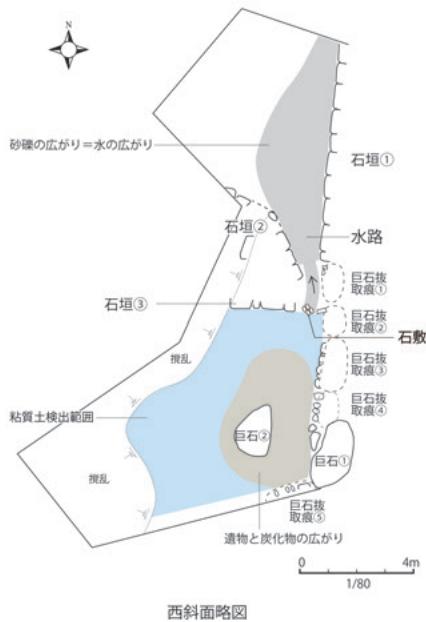


図5 C地区西斜面庭園平面略図

平成27年度、C地区の西斜面下において、6箇所となる庭園が確認された（図3）。C地区の敷地拡張後に造られたとみられる。東側、南側を巨石、北側を石垣に区画された池で、西側は削平のため不明だが、形状は方池と考えられる。

池の範囲は東西6m以上、南北6m（36m²以上）、池中央部には景石に相当する巨石があり、池底は川原石と角礫で化粧を施している。角礫は赤色のものを意図的に使用しているようである。

水の取入口は南東部の巨石上部と考えられる。池の北側にはスロープ状の水路があり、これが排水路とみられる（図4）。上下の高低差は1.6mを測る。水路下

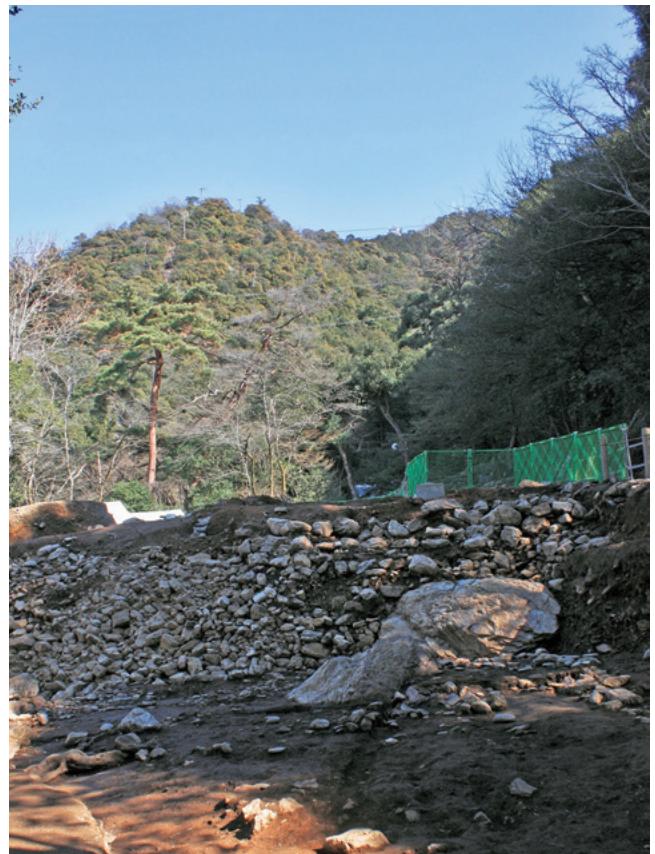


図6 池から山上の城を望む（西から）

には砂礫が広がっており、流れた水は地下に浸透していたようである（図5）。

池の内部からは金箔瓦片がまとまって出土しており、この池の上部に金箔瓦等を使用した建物が存在した可能性が高い（図6）。

（3）建物跡と金箔瓦

B I区では多量の焼けた壁土で埋没した建物跡を確認している。壁土は厚さ10cm近くあり、蔵状の厚い壁であったと見られる。その基礎には円礫石組みが存在し、その内側が30cmほど低くなる半地下状の構造となっている。

館の中心建物があったと考えられる平坦地（C地区）では、礎石を部分的に確認しているが、その大部分は近代以降に削平されており、建物の規模等を推定するにはいたっていない。しかし、敷地の西側およびその直下の庭園において、方形の飾り瓦がまとめて確認されている。瓦は火災の被熱によって変色している。飾り瓦の大きさは一辺約28cm、厚さ約3cmの板状。四隅には取り付けのための釘穴が開いており、C

地区西側にあった建物の大棟部分を飾った棟板瓦と考えられる。菊花文、牡丹文、無文の3種類があるが、このうち牡丹文は円盤状の粘土を一枚ずつ貼り付けた立体的なもので、現在のところ他に類例がない。これらの花びら破片を科学分析した結果、花びら部分から金及び金箔を貼りつける時に使用する漆の成分が検出され、金箔が貼られていたことが判明した。

3. 文献からみた山麓居館 一ルイス・フロイス「4種の記録」から

(1) 4種の記録の概要

岐阜城の大きな特徴として、表面観察や発掘調査により遺構が確認されるだけでなく、文献記録との対比が可能な点が挙げられる。中でも宣教師による記録は、山麓の「宮殿」や山上の「主城」の様子が具体的に記述されている点で従来から注目されていた。信長が岐阜に入城した2年後の永禄12年(1569)、ポルトガルの宣教師、ルイス・フロイスは、信長に援助を求めるために岐阜城を訪れている。その時の様子を書簡に記しているが、特に山麓の館について4階建ての「宮殿」であったと紹介している。

現在の所、1569年7月12日付ルイス・フロイス書簡は全部で4種が知られている。4種の記録とは、『リスボア国立図書館所蔵写本』(以下リスボア写本)、『アルカラ版イエズス会士書簡集』(以下アルカラ版)、『エヴォラ版日本書簡集』(以下エヴォラ版)、『日本史』である(表1)。もとは一つの手紙であるため同様の内容が書かれているが、写本作成や活字化等の工程で表記や内容に差異がみられる。各資料の内容の違いは以下のように整理できる。

① リスボア写本が最も原本に近く、情報量が豊富で信頼度が高いが、一部に誤りもある。

② エヴォラ版はリスボア写本と同じポルトガル語で内容も類似しているが、一部省略されている箇所がある。

③ スペイン語で書かれたアルカラ版は、他の書簡より刊行が早いが、相違点も多い。

④ 『日本史』には他の書簡にはない記述もある。アルカラ版との共通点も認められる。

原本が存在しない以上、一つの記録に依拠するのではなく、リスボア写本を軸としながら、文節ごとに各書簡や『日本史』の記録と対比し、内容を吟味する必要がある。詳細な検討は別稿(高橋2015)に譲ることとし、以下にその概要を紹介する。

(2) 山麓部の庭園の記述

信長に会うために岐阜の町に到着したフロイス一行は、2日間待った後、佐久間信盛、柴田勝家と会い、彼らの仲介で信長に面会、その後、信長の案内で宮殿

表1 1569年岐阜訪問の記録が記されたルイス・フロイス書簡一覧

名称	概要	翻刻文	日本語訳
リスボア 国立図書館 所蔵写本	<ul style="list-style-type: none"> リスボア国立図書館所蔵 邦訳：松本和也氏 原文：ポルトガル語 		松本2010
アルカラ版 イエズス会士 書簡集	<ul style="list-style-type: none"> 1575年にスペインのアルカラで印刷刊行 岐阜市歴史博物館所蔵 邦訳：高木洋氏 原文：スペイン語 	未発表	高木2004 高木2005 高木2011
エヴォラ版 日本書簡集	<ul style="list-style-type: none"> 1598年にポルトガルのエヴォラで印刷刊行 邦訳：東光英博氏 原文：ポルトガル語 	東大編纂所 1930	東光1998
日本史	<ul style="list-style-type: none"> 1583年から1594年にかけて執筆した著書 (原文は1835年に焼失) アジュダ図書館、リスボア国立図書館蔵 邦訳：松田毅一氏・川崎桃太氏 原文：ポルトガル語 <p>※本稿では入手史料の関係から、邦訳を中公新書版(アジュダ図書館本)、翻刻をリスボア国立図書館本を用いた。表記に違いがある可能性があるため、今後さらに検討の余地を残す。</p>	リスボア 図書館1981	松田・川崎 1978

の内部に入る。山麓部の記述は、大きく4つの場面に分けられるが、原則的に見学した順番に時系列で記述しているのが大きな特徴である（表2）。庭園に関係する部分の検討について、以下に記す。

1) 宮殿と家

山麓の居館は統一的に宮殿paçosと表現している。宮殿建設の目的は、「栄華を誇示」し「自らの歡樂を実現」するためであり、そこに政府や軍事施設的な用途は伺えない。フロイスはこの宮殿を「地上の樂園」paraiso terrealと表現、美濃の人々は「信長の極樂」guoucuraquiと呼んだとしている。その表現はリスボア写本>アルカラ版>エヴォラ版の順番で簡素化しており、『日本史』では表現がなくなっている。

石の囲いの中にある宮殿paçosと外の建物は明瞭に区別されており、館に入る途中の「劇場のような大きな家」や「貴人の家々」は家casaと表記されている。

2) 1階の庭園

縁の外側には複数の庭iardinsがあったが、その数

は書簡では5つないし6つ、『日本史』では4つ5つと異なっている。庭の複数形でniuasとも表記される。庭園の特徴は以下のように記されているが、複数の庭のうち実際に見学した特定の庭の様子と考えられる。

- ・大変洗練され、すべてが珍しい（新しい）
- ・小さな空間をなしている
- ・池の深さは1パルモ、池底には小石と雪白の砂
- ・様々な種類の魚がたくさん泳いでいた
- ・様々な種類の花や草木が、池の中央の岩の上に生えている

庭は誰にとって珍しかったのか。リスボア写本、アルカラ版では、複数の庭園のことをすべてが珍しいmesuraxisと記述している。mesuraxisは珍しいという日本語の複数形で、「新しいもの」と説明されている。正確には「珍しい」と「新しい」は意味が違うので、本国の人たちに意味が正確に伝わったとは言い難い。その点、『日本史』では珍しいraraという言葉を使っており、こちらの方がより意味を伝える表記となつて

表2 1569年ルイス・フロイス岐阜訪問の主な行程

洋暦	和暦	内容	同行者	岐阜滞在
6月1日	5月17日	・6月1日付でフィゲレイド師宛の手紙を書く。 ・夜半過ぎに書き終える。	-	-
6月2日	5月18日	・早朝4時に近江坂本へ出発、同日中に到着したとみられる。 ・ロレンソを5日待つ。(6月7日頃に合流か?)	コスメと家人 小西立佐 小西如清	
6月8日頃	5月24日頃	・早朝3時に船で出発、同日中には朝妻に到着したとみられる。 ・陸路に備えて旅籠屋で宿泊。	ロレンソ	
6月9日頃	5月25日頃	・陸路で美濃へ出発。(一泊二日か?)	コスメ・デ・ニニア ナカイ・ルイス	
6月10日頃	5月26日頃	・岐阜の町に到着。 ・佐久間信盛、柴田勝家は京都、木下藤吉郎は尾張へ行き留守。 ・2日間待つ。(6月12日頃に両名が岐阜に到着)		1日目
6月13日頃	5月29日頃	・朝、佐久間邸、その後柴田邸を訪ねる。柴田邸で食事。 ・午後織田信長を訪ねる、居館見学。(山麓部の記述)	ロレンソ	3日目
6月15日頃	閏5月1日頃	・居館見学から2、3日後に木下藤吉郎が戻る。 ・藤吉郎に和田惟政の書状を渡した後、夕食に招かれる。		5日目
6月16日頃	閏5月2日頃	・藤吉郎に要望の下書きを渡す。 ・信長が秘書に書き直しを命じ、藤吉郎経由でフロイスに渡す。 ・柴田邸を訪問、もてなしを受ける(食事)。 ・信長に別れを告げるが、2日伸ばすように言われる。		6日目
6月17日頃	閏5月3日頃	・朝、中川重政邸で食事。(都の貴人7、8人と共に) ・柴田勝家の案内で山上へ案内される。(山上部の記述)		7日目
6月18日頃	閏5月4日頃	・都へ旅立つ。(「その町に8日間滞在」) ・6月20日頃(閏5月6日頃)帰京とみられる。	コスメ・デ・ニニア	8日目
7月12日	閏5月28日	・その後の経過も含め、7月12日付でフィゲレイド師宛の手紙を書く。	-	-

※日付については推定も含むため、1・2日前後のズレがある可能性がある。

いる。フロイスの記録では、人名や場所等の固有名詞をそのまま表記する例は多いが、形容詞は稀である。これは当時、フロイスが「珍しい」という言葉を、受け売りでそのまま使ったと解釈することもできる。その場合、「珍しい」は案内した信長若しくは同行した人物が発した言葉であったとも考えられる。『日本史』では「その完全さは日本においてははなはだ稀有なもの」と記述していることからみても、庭は外国人だけでなく、京都から来た客人にとっても「すべてが珍しい」ものであったのではないか。

次に庭の詳細が書かれているが、アルカラ版では小さな空間をなしているとある。植栽については、洋暦6月中旬にみられる香り高い草花で岩に生えるという点が、種類を特定するヒントになると思われる。池の深さが1パルモと浅いことや、池底や中央の岩の様子が観察できる距離であったことからみても、あまり大きくない庭園をイメージさせる。

3) 巨大な庭園

リスボア写本、エヴォラ版では「山から良質の水が流れしており、それをせき止めて、管で分けていくつかの部屋に湧き出るようにしている」とある。『日本史』では「下の山麓に溜池があつて、そこから水が部屋に分流しています」となっているが、「せき止める」represadaという表現の代わりに、「溜池」tanque d'aguaという言葉を用いている点に注目したい。また、「下の山麓に」という訳は日本語として違和感があるが、「山の下に」と訳すことも可能である。アルカラ版では「せき止める」という表現はないが、その山からは水が豊富に「流れ落ちる」azequiaとある。4つの記録を合わせて考えると、「山から流れ落ちる水」は「溜池」から「管で分けていくつかの部屋に湧き出るようにしていた」と理解することができる。この部分は規模の大きい庭園と解釈できる可能性が高い。

4) 2階からの眺望

2階は奥方raynha（女王）の部屋がある場所で、町側だけでなく山側にも、眺望を楽しむ見晴らし台があるのが特徴である。山側の見晴らし台で見聞きしたものについて、書簡には、「あらゆる小鳥のさえずり（音楽）と日本で望みうる鳥の美」と描写している。『日本史』では当該部分について「（山の側では）小鳥のあ

らゆる音楽（が聞こえ）、極めて新鮮な水が満ちた他の池の中では鳥類のあらゆる美を見ることができます」とあるのが注目される。ここでいう池もtanques de aguaであり、1階で溜池と表現されていたものと同一の可能性が高い。山も同様であろう。また、山には小鳥のさえずり、池には鳥の美と場所を分けて書いている。2階は町側の眺望が楽しめると同時に、1階部分で紹介された山や溜池を見る能够性がある位置にあったと考えられる。

5) 3、4階の茶室と庭園

ここでは2つの茶の座敷が描写されている。最初の茶の座敷は『日本史』では「茶室が付いた廊下」と表現される。文脈から見晴らし台と縁が付いていた座敷と考えられ、町側の眺望を意識した場所の可能性が高い。

そして3、4階の眺望の記述の後に、2つ目の茶の座敷の説明をしているが、こちらは庭niuasがついているのが注目される。この茶の座敷は庭を見せるための場所であり、明らかに内側、山側の眺望を意識している。工夫を凝らした庭とあるが、その様子はここでは窺うことができない。『日本史』にのみ「彼が同所で所蔵していた他の高価な品を見せた」と記述されており、建物や庭だけでなく、茶道具も見せたようである。なおここでは、フロイス、ロレンソの他、寵臣2、3人だけを連れて見せている。寵臣とはすなわち佐久間信盛、柴田勝家である。京都からの客人は見学できなかつたことになるが、これはその程度の人数しか入ることができない小規模な座敷であったとも考えられる。

4. フロイスの記述と発掘調査成果の対比から見た山麓居館の構造

フロイスの記録は、見学順に時系列で記述していることが大きな特徴であり、それが位置関係の詳細な検討を可能にしている大きな要素となっている。そこでまず、記録から見た山麓居館の構造について整理し（図7）、これに現況地形や発掘調査成果等（図9・10・11）から検討を加えて位置関係を推定、その結果を地形復元図上に①～⑫の番号を付して対応させた図を示した（図8）。

1) 宮殿の門

現在の噴水東側で行われた試掘調査では、慶長5年

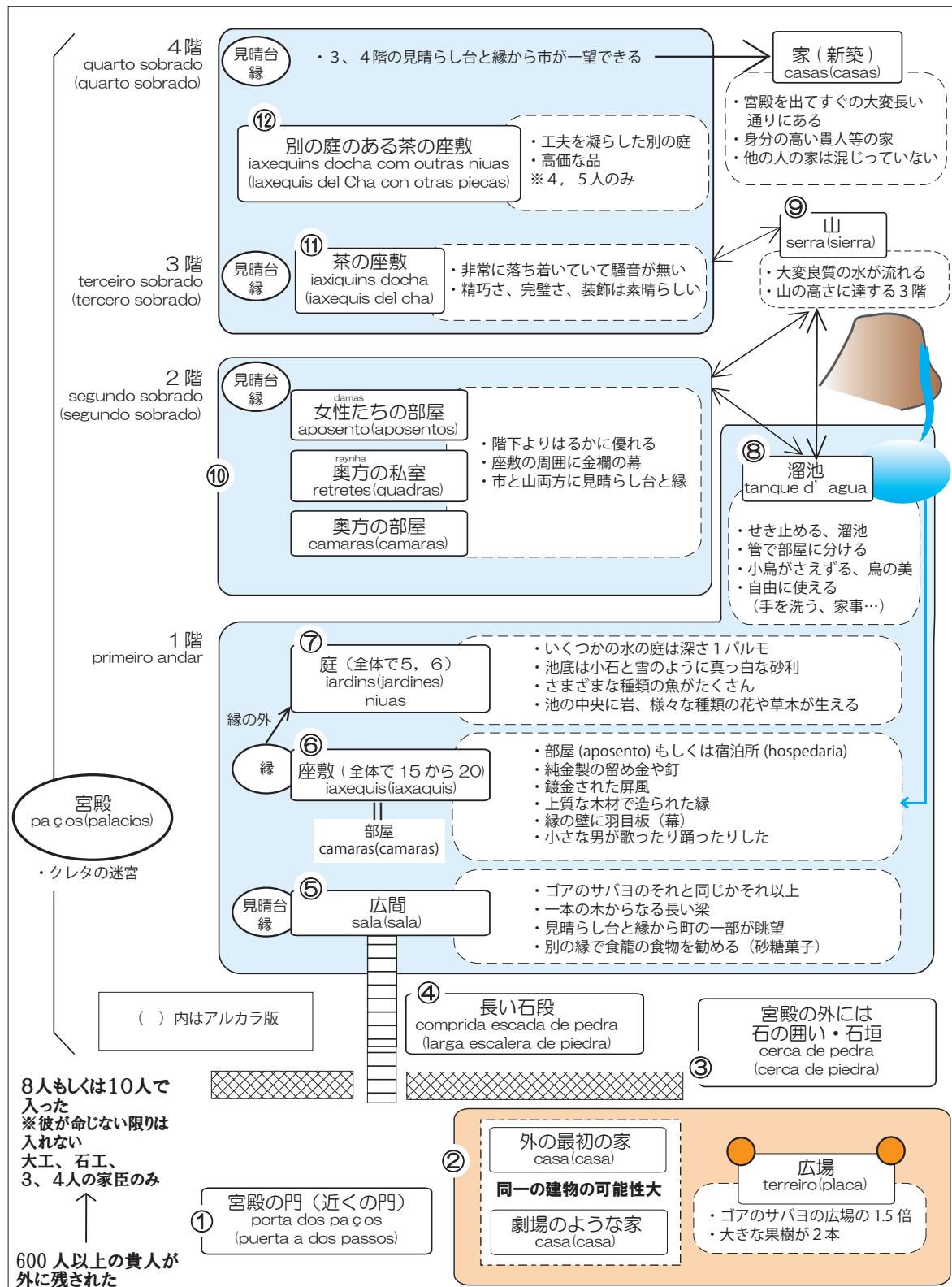


図7 ルイス・フロイスの記録から見た山麓居館の構造

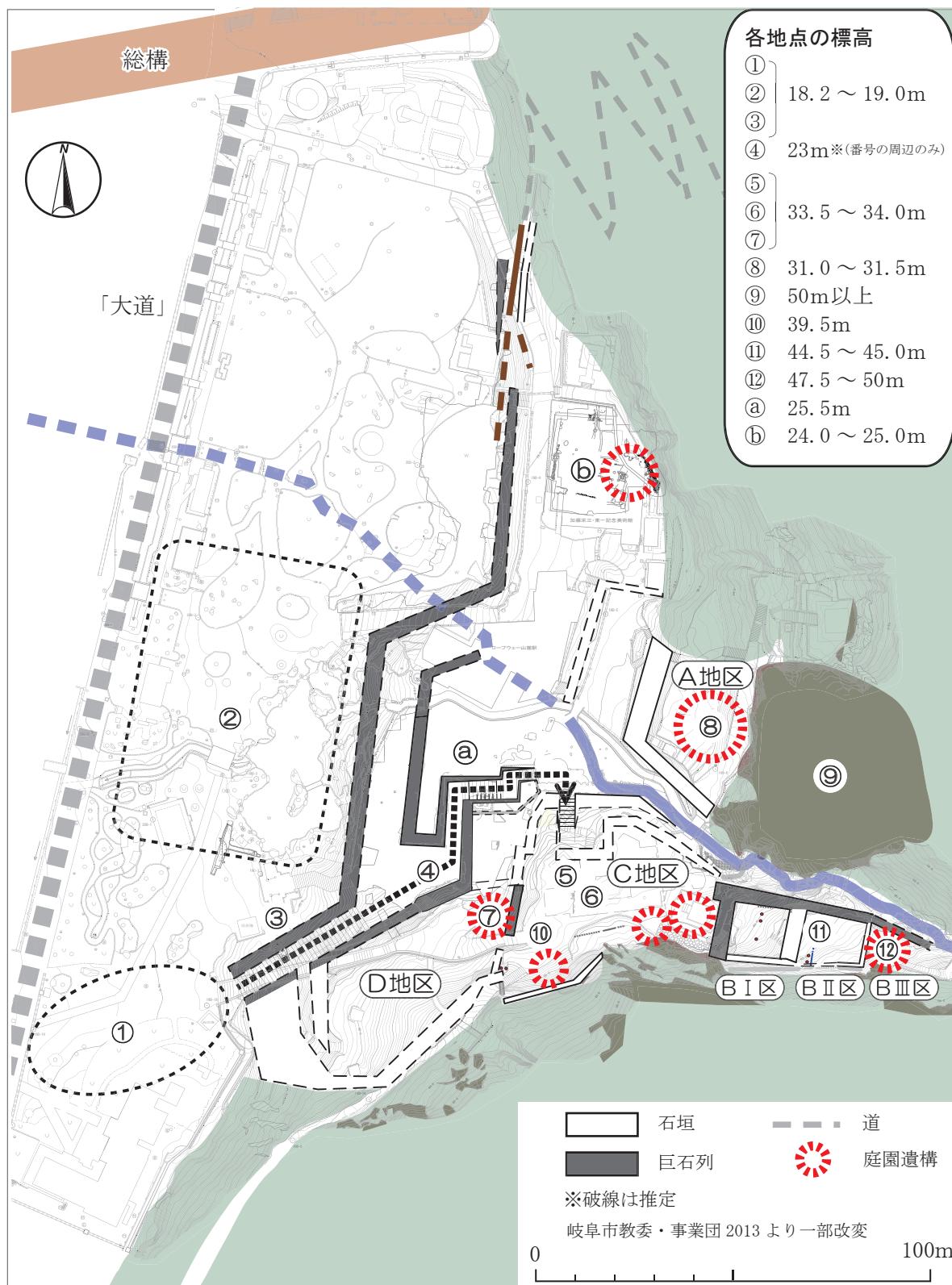


図8 山麓居館地形復元図

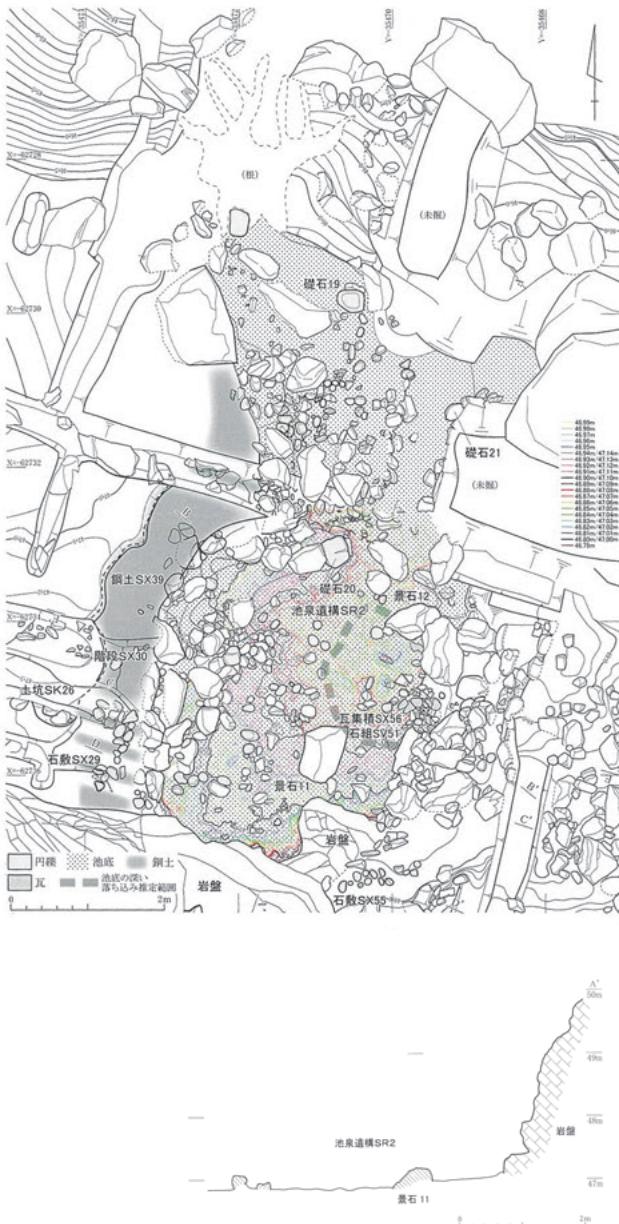


図9 BⅢ区庭園平面図・断面図



図 10 C 地区東端庭園平面図・断面図

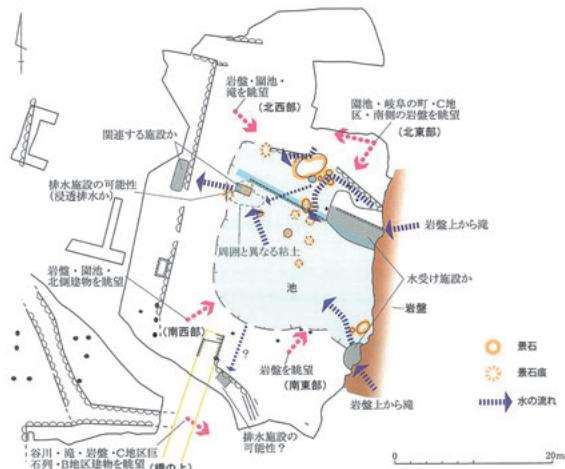


図11 A地区庭園平面模式図

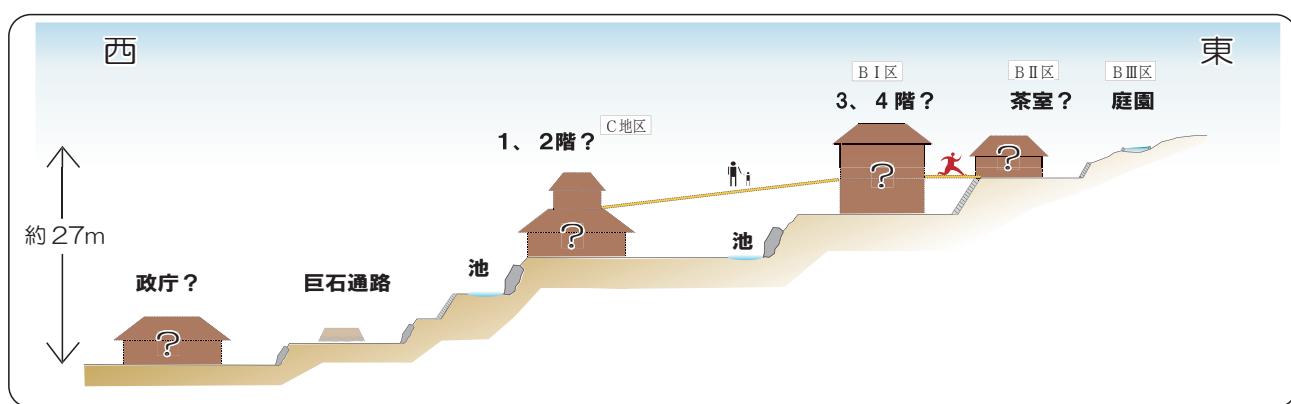


図12 信長居館構造案の断面模式図

(1600) 廃絶とみられる遺構面から掘り込む土坑を確認し、内部から焼土と炭化物、少量の土器・陶磁器の他、火を受けたとみられる瓦が多く出土したことから、調査地点周辺に門①があった可能性が指摘されている。また『言継卿記』にも軽微な対面の場所として「門前」「門外」が出てくるが、こちらも噴水の周辺が推定されている（大下2015）。

2) 劇場のような家・広場、宮殿の外の石の囲い

最下段平坦地の東側斜面も巨石列で区画されていたことが確認されている。これが③の石の囲いに相当するとみるのが妥当であろう。また劇場のような家と広場は、宮殿を囲む石垣の外側に位置したと解釈されることを踏まえると②の最下段に対応すると考えられる。

3) 長い石段

長い石段は、②劇場のような家と⑤広間をつなぐもので、従来は水路脇からC地区にいたる階段だけが想定されていた。しかし2つの位置関係から改めて考えると、図の矢印線で示したような階段と巨石通路部分を包含した広い範囲と解釈した方が、整合性が高い。

4) 広間、座敷

城主の居館は千畳敷にあったと言われている。C地区は最下段の場所から15mほど登った眺望のよい場所である。面積も広く、ここに金箔瓦で飾られた居館の中心的な建物があった可能性が高いと考えている。

5) 1パルモの庭園

これまでにC地区の東端で巨石を背景とした庭園、南東部で枯山水とみられる石敷きが確認されている他、⑥地点では石敷きと水路、そして後述のA地区、BⅢ区の庭園というように、記述を裏付けるような複数の庭園遺構が確認されている。

平成26年度の段階では、「1パルモの庭園」はC地区東端の庭園が対応すると考えていたが、庭園の規模や中央に景石がある点、後述の2階との関係を考慮すると、平成27年度に新たに確認された庭園（⑦）がより符合するものであると認識を改めた。C地区には複数の庭があることが判明しつつあるため、今後の調査によってさらに認識が変更する可能性がある。

6) 溝池、山

平成25年度の調査ではA地区の全面調査を行い、岩盤を背景とした大規模な庭園があったことを確認し

た。岩盤からは2本の滝が流れ落ちていたことも判明している。記録にある山から流れ落ちる水と溜池は、このA地区の岩盤の滝と池（⑧）に対応するとみてよいだろう。つまり山serraは金華山全体ではなく、A地区の庭園の背景となる岩盤（⑨の岩山）を指しているとみられる。この「山」はその後の記述でもかなり意識されており、2階部分では、山側で小鳥のさえずりが聞こえるような描写がある。また3階部分の「山の高さに達する」という表現もA地区の岩山と考えればよく整合する。

なお、平成25、26年度の発掘調査において、C地区とA地区を結ぶ橋の存在が明らかになりつつあるが、記録から橋を渡ったことを窺うことはできない。

7) 2階

2階部分は溜池が見える場所で、なおかつ市と山の両方に見晴らし台と縁がある。庭園の次に2階の記述があることから、平成26年度段階では、BⅠ区が2階に相当すると解釈していたが、BⅠ区の建物は蔵状の構造であり、階下よりはるかに優れるという記述にそぐわない点があった。

平成27年度に新たな庭園が見つかったことにより、C地区に2階部分を想定することも可能となった。金箔瓦の出土範囲はC地区南西部に限られる点、山頂部と視覚的につながっており、かつ広範囲に眺望がきく点、3、4階からの眺望を阻害しない点を踏まえると、⑩の部分がよりフロイスの記述に整合すると考えられる。その場合、この場所の建物は2階建てで、金箔瓦はその棟部分を飾っていたとみられる。

8) 茶の座敷

BⅠ区の建物は厚い壁と強固な基礎構造を持つことから2階建てないし3階建ての可能性がある（図7）。BⅡ区は石垣で区画された平坦地が確認されている。茶の座敷はこのBⅠ区上層階かBⅡ区に位置していたと考えられる（⑪）。

9) 別の庭のある茶の座敷

最奥部にあたるBⅢ区では、長良川の白砂を敷き詰めた流れのある池の遺構を確認しており、これが工夫を凝らした庭に対応するとみられる（⑫）。周囲では礎石と見られる石材も確認しており、この庭園の近くに茶の座敷があったと想定できる（図12）。

5. おわりに

本報告は平成28年10月段階までの調査成果を踏まえ、高橋2015を修正したものである。発掘調査は現在も進行中であり、更に慎重な検討を必要とするが、現時点の調査成果を合わせて考え、位置比定を行った。このような検討や様々な意見を踏まえ、隨時見直していきたい。

【参考文献】

- 1 井川祥子「岐阜城跡 織田信長居館跡」『戦国時代の城館の庭園』奈良文化財研究所、2015
- 2 内堀信雄「岐阜城」『天下人の城』風媒社、2012
- 3 大下永「『言継卿記』に見る岐阜城と城下町」『岐阜市歴史博物館研究紀要22』岐阜市歴史博物館、2015
- 4 高木洋『宣教師が見た信長の戦国—フロイスの二通の手紙を読む』風媒社、2011
- 5 高橋方紀「ルイス・フロイス「4種の記録」からみた岐阜城の構造」『岐阜市歴史博物館研究紀要22』岐阜市歴史博物館、2015
- 6 松田毅一・川崎桃太訳『フロイス日本史4』中央公論社、1978
- 7 松田毅一監訳、東光博英訳「1569年7月12日付、ルイス・フロイス師の、ベルショール・デ・フィゲイレド師宛の書簡」『十六・七世紀イエズス会日本報告集 第III期第3巻』同朋舎、1998
- 8 松本和也「永禄十二年伴天連追放の綸旨の影響—一五六九年七月十二日付ルイス・フロイス書簡の考察」『研究キリストン学 第12号』キリストン学研究会、2010
- 9 リスボア国立図書館『HISTORIA DE JAPAM II (1565-1578)』1981
- 10 『信長公居館跡発掘調査平成27年度現地説明会資料』岐阜市教育委員会・(公財)岐阜市教育文化振興事業団、2016
- 11 『岐阜城跡4』岐阜市教育委員会・(公財)岐阜市教育文化振興事業団、2016
- 12 井川祥子「A地区の構造」『岐阜城跡3』岐阜市教育委員会・(公財)岐阜市教育文化振興事業団、2015

【図版出典】

- 図1～4、6、8～10 岐阜市教育委員会
- 図5 『信長公居館跡発掘調査平成27年度現地説明会資料』岐阜市教育委員会・(公財)岐阜市教育文化振興事業団、2016
- 図7、12 著者作図
- 図9～10 『岐阜城跡4』岐阜市教育委員会・(公財)岐阜市教育文化振興事業団、2016
- 図11 井川祥子「A地区の構造」『岐阜城跡3』岐阜市教育委員会・(公財)岐阜市教育文化振興事業団、2015

表3 フロイスの記録対比表（山麓部）

段落	アルカラ版書翰集 (スペイン語) 訳：高木洋	リスボア国立図書館所蔵写本 (ポルトガル語) 訳：松本和也	エヴォラ版書翰集 (ポルトガル語) 訳：松田毅一・東光博英	日本史 (ポルトガル語) 訳：松田毅一・川崎桃太
1	<p>その後、彼は2人の殿と3人の公方様の武将、そして竹内三位という神の教えの大敵を呼びました。</p> <p>竹内は、かつて私たちのミヤコからの追放を弾正殿[松永久秀]に懇請した者ですが、しかし今は力ももっていません。</p> <p>そして他に彼らと一緒に都の楽人も呼び、彼はこの8人乃至10人とともに新しい宮殿に入ったのですが、600人以上の貴人が外に残されました。</p>	<p>ここで彼はこの3人の領主と公方様の3貴人、法華宗徒でデウスの教えの最大の大敵であって、弾正殿とともに再び私達を都から追放するよう求めたが、今では全く世俗の権力を持たない竹内三位(季治)という名の者、その他の[都の]音楽家2、3人を呼び寄せました。この8人もしくは10人だけ連れて新しい宮殿に入り、(他の)600名以上の貴人は外に遠く離れて留まりました。</p>	<p>そこで彼は、件の3名の大身と公方様の3人の貴人、及び法華宗徒にしてデウスの教えの大敵であり、かつて弾正殿とともに我らの追放を願ったが、今やまったく世俗の権力を有さない竹内三位(季治)と称する者、その他都の音楽家2、3名を呼び、これら8、乃至10名のみを伴って、宮殿に入り、600名以上の貴人は外に遠く離れて留まりました。</p>	<p>ついで彼は、かの2人の殿、及び公方様の他の3人の貴人、ならびにデウスの教えの極端な大敵で、法華宗の新宗派を創始し、後に信長が斬殺させるに至った竹内三位(季治)というものの、また都の2人の楽師、ロレンソ修道士、これらの人たちだけと一緒にその新しい宮殿に赴き、600人程の貴人は外に留まりました。</p>
	<p>Dedpues llamo estos dos señores y a tres caualleros dé Cubuçama y vn grändissimo enemigo dela ley de Dios, que se llama Taxinoxicami Fuxijo, que fue el que solicito a Dajandono la otra vez, para que nos echassen fuera del Meaco: empero ahora ninguna fuerça tiene: y con ellos juntamente otros dos musicos de Meaco: y solamente con estas ocho o diez personas entro enlos palacios nuevos, que dando fuera mas de seyscientos caualleros.</p>	<p>Nisto chamou estes tres[sic?] senhores, & tres fidalgos do Cubuçama, & hum grandissimo inimigo da ley de Deos por nome Taquinuechisami ficheixu, que foy o que sollicitou com Daïodon da outra vez, que nos deitassem fora do Meaco. Porem agora[nam] tem nenhua força mundana, & outros das outros musicos, & somente com estas 8 ou dez pessoas entrou nos paços novos, ficando fora bem longe mais de seis centos fidalgos.</p> <p>※ ou tres の誤記</p>	<p>Nisto chamou estes tres senhores, e tres fidalgos do Cubuçama, & hum grandissimo inimigo da ley de Deos, por nome Taqueno Uchisami, que fez a nova seita dos foquexus a quem depois Nobunaga mandou fazer em postas, e dous muzicos do Miaco e o Irmão Lourenço, e com esta gente somente entrou em seos paços novos ficando fora como seiscientos fidalgos.</p>	<p>Depois chamou a estes dous senhores e outros tres fidalgos de Cubosama, e hum grandissimo inimigo da ley de Deos, por nome Taqueno Uchisami, que fez a nova seita dos foquexus a quem depois Nobunaga mandou fazer em postas, e dous muzicos do Miaco e o Irmão Lourenço, e com esta gente somente entrou em seos paços novos ficando fora como seiscientos fidalgos.</p>
2	<p>またきわめて富裕であり、他の国主が何事においても彼を凌ぐことなく、逆に彼の方こそがすべてに勝ることを望んでおり、その偉大さを示すため、またその娛樂のために、地上の楽園としてこの宮殿の建設を決定したのであります。それは美濃の人々が「極楽」といい、信長がきわめて多額の金子をつぎ込んだ、彼の楽園なのです。</p>	<p>また、彼はたいへん財力に富んでいるため、何事においても他の如何なる国王[戦国大名]が自身を超える事がないよう望んでおります。さらに自身の榮華を誇示し、自らの歡樂を実現しようとしております。そこで彼はこの世の樂園を造ることを決意しました。美濃の人々はこれを信長の「極楽」[樂園]と呼んでおります。それには相当な数の金錢を費やしました。(以上のことをです)。</p>	<p>また、いとも財力に富み、何事においても他の国主が己れを凌ぐことなく、己れが諸人を超えることを望むが故に、己れの偉大さを示し自らの歡樂を得るため、この美濃の人々が地上の楽園と呼ぶものを造ることに決したのであり、これに相当な金錢を費やしたのであるから、尊師も容易にこれを想像しうるであろう。</p>	<p>きわめて富裕なために、他のいかなる国主も己を凌駕する事がないよう望んでおります。さらに彼は自らの榮華を示すために他のすべてに優ろうと欲しています。それゆえにこそ、彼は多額の金子を費やし、自らの慰安、娛樂としてこの宮殿を建築しようと決意したのであります。</p>
	<p>y siendo como es riquissimo, y Peurando que no aya cosa en que otro algun Rey le sobrepuje, antes el sobrepuje a todos, para mostrar su magnificencia y para su recreacion y deleite, determino de hazer este su parayso terrenal, que assi le llaman los de Mino, Gocuracu, que es parayso de Nobunanga, en que ha gastado grande numero de dinero.</p>	<p>sendo como he opolentissimo em riquezas, & pretendendo não aver cousa, em que outro rey algum o sobrepoie, antes preferirse a todos pera a ostentacão de sua magnificencia, & consumada recreacão de suas delicias, determinou fazer pera si este seu paraíso terreal, que assi lhe chamão os de Mino, guoucuraqui[paraiso] de nobunanga, onde tem gastado grande numero de dinheiro.</p>	<p>sendo como he abundantissimo em riquezas, & pretendendo não auer cousa em que outro Rei o sobre poje, antes preferirse a todos pera mostra de sua magnificencia, & consumada recreaçao de suas delicias, determinou fazer pera si este seu paraíso terreal, que assi lhe chamão os de Mino, onde tem gastado grande soma de dinheiro.</p>	<p>sendo como hé riquissimo, procura que não haja couza em que algum outro rey o sobrepuje, antes elle pertende exceder a todos para mostrar sua magnificencia, e assim determinou, para recreaçao sua e deleite, fazer estes paços em que tem gastado muito dinheiro,</p>
3	<p>近くの門を入ってすぐ、私は後で記述するためにこの宮殿の様子を記憶しようとしましたが、目にするものがあまりに多く、第2のものの壮大さと完璧は、その前に心に留めておいたものを忘れさせました。</p>	<p>私は宮殿の門を入るとすぐに、あとでこの(書簡)で彼[尊師]に報告するため、その[宮殿の]様子を記憶するつもりでした。しかし、目にしたものが多すぎましたので、(宮殿の)壮大さや完璧さを見る一方で、他方では記憶したことを忘れてしまいました。</p>	<p>私は宮殿の門を入った時すぐさま、後に本(書簡)で尊師に伝えるため、宮殿の有様を記憶するつもりであったが、目にする物があまりにも多く、一方の壮大さや完璧さを見てゆくにつれ、他方について記憶したことを忘れさせるほどであった。</p>	—
	<p>Luego que entre por la puerta a dos passos, Ppuse de hazer memoria dela traza destos palacios, para despues en esta referirlo: mas fueron tantas las cosas que vi, que la grandeza y perfeicion de vnas me hazia olvidar delo que tenia notado de otras:</p>	<p>logo quando entrey polla porta dos paços prospus conservar o retrato, & idea delles, pera depois nesta lho recitar, mas forão tantas as coussas que vy, que a grandeza, & perfeição de humas assi como se hião multiplicando, me fazia esquecer o que tinha reservado das outras.</p>	<p>Logo quando entrei pola porta dos paços propus conseruar o retrato, & semelhança delles, pera depois nesta lho referir. Mas forão tanta as coussas que vi, que a grandeza, & perfeição de huas assi como se hião multiplicando, me fazia esquecer o que tinha reseruado das outras.</p>	—

段落	アルカラ版書翰集 (スペイン語) 訳:高木洋	リスボア国立図書館所蔵写本 (ポルトガル語) 訳:松本和也	エヴォラ版書翰集 (ポルトガル語) 訳:松田毅一・東光博英	日本史 (ポルトガル語) 訳:松田毅一・川崎桃太
4	この宮殿は、二年前信長が武力をもって奪い取った、この美濃国の主城がある非常に高い山の麓に建てられています。	これらの宮殿は非常に高い山の麓にあり、そこ[その山]にはこの美濃国の主城[岐阜城]が建っております。それは信長が二年前武力で奪取した(城です)。	これらの宮殿は非常に高い山の麓にあり、その山には信長が二年前に武力で奪った当美濃国の主たる城が建っている。	宮殿は非常に高いある山の麓にあり、その山頂に彼の主城があります。
	Estan estos palacios edificados al pie de vna altissima sierra, en la qual esta la principal fortaleza deste reyno de Mino, que Nobunanga tomo aura dos años por fuerza de armas.	estão estes paços edificados ao pé duma altissima serra, na qual esta edificada a principal fortaleza deste reyno de Mino, que Nobunanga tomou ayera dous annos, por força d'armas.	estão estes paços edificados ao pé d'uma altissima serra, na qual esta edificada a principal fortaleza deste Reino de Mino, que Nobunanga tomou ayera dous annos, por força d'armas.	os quaes estão edificados ao pé de huma serra mui alta e no cume della está sua principal fortaleza.
5	宮殿の外側には、石灰を全く使わず(面積)が広い上に(見事に)完成した石垣がありますが、石は驚くほど大きく、石灰の類を全く必要としない(ほどぴったりと接合している)ということです。	この宮殿の外には石灰は用いられていませんが、広大でよく築かれた石の囲い[石垣]がありました。石はあまりに大きく、つなぎ合わせるのに全く石灰を必要としません。	宮殿の外には甚だ幅があるとはいえない出来栄えのよい石の囲いがあり、その石は驚くほど大きく、互いにつなぎ合せるのに全く石灰を必要としない。	驚くべき大きさの截断されない石の壁がそれを取り囲んでいます。
	Tienen por de fuera estos palacios vna cerca de piedra sin cal muy ancha, tambien hecha, y las piedras de tan estraña grandeza, que ninguna necesidad tienen de cal.	Tem por for a estes paços huma cerca de pedra em soca muy larga, mas tambem feita, & as pedras de tão estranha grandeza, que nenhuma necessidade tem de qual, pera as ajuntar.	Tem por fora estes paços húa cerca de pedra mui larga, mas tao bem feita, & as pedras de tão estranha grandeza, que nenhua necessidade tem de cal, pera as ajuntar.	Tem em roda huma cerca de pedras toscas de estranha grandeza,
6	まもなく広場がある、それはゴアのサバヨよりも大きく、その一倍半もあります。入口には上演や公の祝祭に使う大きな劇場風の部分があります。	一つの広場(があり)、ゴアのサバヨ(の広場)の1.5倍(の大きさで)その入口に公式の儀式や祝祭用の劇場のような大きな家(があります)。	一つの広場(があり)、ゴアのサバヨの広場の一倍半あり、その入口に公の儀式や祝祭に用いる劇場のような大きな家(がある)。	第一の内庭には、劇とか公の祝祭を催すための素晴らしい材木でできた劇場ふうの建物があり、
	Luego esta vna plaça en medio muy mayor que la del Sabajo de Goa: en la entrada della esta vna gran pieça a manera de teatro para representaciones y fiestas publicas.	logo hum terreiro huma vez & meio como o sabaio de goa, & na entrada delle huma grande casa a manerira de teatro pera autos, & festas publicas.	logo hum terreiro húa vez & mea como o Sabayo de Goa, & na entrada delle húa grande casa a manerira de teatro pera autos, & festas publicas.	e no primeiro pateo huma maneira de teatro feito de excellentissima madeira para se reprezentarem nelle autos e festas publicas
7	広場の両側には木陰を作るための二本の大きな果樹があります。	広場の両側には日陰(をつくる)ための大きな果樹が二本(あります)。	広場の両側には日陰(をつくる)ための大きな果樹が二本(ある)。	その両側には、二本の大きい影を投ずる果樹があります。
	De la vna parte y dela otra de la plaça estan dos arboles de fruta grandes, para hazer sombra.	& de huma banda, & da outra do terreiro duas arvores de fruto grande pera sombra.	& de húa banda, & da outra do terreiro duas arvores de fruto grande pera sombra.	de huma parte e da outra duas arvores grandes de frutta para fazerem sombra.
8	長い石段を上ると、	長い石段を登ると	長い石段を登ると、	広い石段を登りますと、
	Subiendo por vna larga escalera de piedra,	subindo por huma comprida escada de pedra,	sobindo por húa comprida escada de pedra	Subindo por huma larga escada de pedra,
9	ゴアのサバヨのそれよりも大きな部屋に入ります。	一つの部屋に入る(ことになります)。それはゴアのサバヨのそれと同じか、もしくはそれ以上です。	一つの部屋に入るが、これはゴアのサバヨのそれと同じか、またはいつも広く、	ゴアのサバヨのそれより大きい広間に入りますが、
	se entra en vna sala, que sera mayor que la del Sabajo de Goa.	entra em huma salla que sera tamanha, ou maior que a do sabajo de goa.	entra em huma sala que sera tamanha, ou maior que a do sabayo de goa,	se entra em huma sala maior que a do Sabayo de Goa,
10	—	(また、部屋を)横切る長い梁は、同じ山から切り出した、たった一本の木からなっております。	長々と(部屋を)横切る梁は同じ山から切り出した一本の木から成っている。	—
	—	& huma trave que de comprido ha atravevessa, he toda de hum soo pao, que cortou na mesma serra.	& húa trave que de comprido a atravevessa, he toda de hum so pao que cortou na mesma serra.	—

段落	アルカラ版書翰集 (スペイン語) 訳:高木洋	リスボア国立図書館所蔵写本 (ポルトガル語) 訳:松本和也	エヴォラ版書翰集 (ポルトガル語) 訳:松田毅一・東光博英	日本史 (ポルトガル語) 訳:松田毅一・川崎桃太
11	この部屋の最初の廊下には見晴らし台と縁があって、町の一部が見えます。	一階のこの部屋には見晴らし台と縁があり、市的一部分が眺望できます。	一階のこの部屋には見晴らし台と縁があって、そこから市的一部分が見えます。	前廊と歩廊がついていて、そこから市的一部分が望れます。
	Enel primer corredor desta sala estan vnos miradores y varandas , que descubren parte de la ciudad.	Na mesma sala que he o primeiro andar, estao miradouros, & varandas que descobrem parte da cidade:	Nesta sala que he o primeiro andar, estao miradouros, & varandas que descobrem parte da cidade:	com suas varandas e miradouros que descobrem parte da cidade.
12	彼の深い寵愛を受ける側近であっても、またいかなる（高貴な）人物であろうとも、彼が命じない限り決してこの宮殿には入れないのであり、（命じられて）入ったとしても外から一番目の部分で彼と話をします。	彼の寵臣であっても誰であっても、彼が命じなければこの宮殿に入ることは絶対なく、外の最初の家で彼と話をします。	彼の寵臣であれ何びとであれ、彼が命じることなしにこの宮殿に入るとは決してなく、外の最初の部屋で彼に話す。	たとえその寵臣であっても、彼が明白（な言葉で）召喚したのでなければ、（誰も）この宮殿の中へは入らぬのであり、彼は入った者は外の第一の玄関から語るのであります。
	que ni aun sus muy priuados, ni persona alguna viua entra en estos palacios, si el no lo manda, y al que entra, le habla enla primera pieça de a fuera:	que nem os seus muito priuados, nem pessoa alguma viva entra nestes paços, salvo se ho elle mandar, & lhe falla na primeira casa de fora,	que nem os seus muito priuados, nem pessoa algua nunca entra nestes paços, saluo se o elle mandar, & lle fala na primeira casa de fora,	nem ainda seos muito priuados nem pessoa alguma entra nestes paços se o elle expressamente não manda chamar, e ao que entra lle falla da primeira porta de fora;
13	大工と石工、そして工事用の荷を携えた3、4名の彼の下僕たちのみが、閉じた扉の内へ入っていたのです。	大工や石工、建築資材を運搬したり、門を閉めたりする（役の）3、4人の家臣だけが宮殿内に入る（ことができます）。	大工や建築資材を扱い門を開める3、4名の家臣のみが宮殿内に入る。	大工たちと建築に立ち会う4人の若い貴人がいるのみであります。
	solamente los carpinteros y canteros , y tres o quatro criados suyos entran dentro, cerradas las puertas: los quales tienen cargo de las obras.	somente os carpinteiros, & pidreiros , & tres, ou quatro criados seus por cuja mão correm os meteriaes das obras, & fechão as portas, entram dentro.	somente os carpinteiros, & tres ou quatro criados seus por cuja mão corremos materiaes das obras, & fechão as portas, entrão dentro.	somente os officiaes dasobras e 4 mancebos fidalgos que assistem a elles.
14	内部の部屋や大広間は（まるで）クレタの迷宮で、すべてが巧妙に、思いのままに作られていました。	中の部屋はクレタの迷宮であり、すべてが一人の異教徒の繊細さによって入念に作られました。	内部の諸室はクレタの迷宮であり、すべて入念かつ巧妙に造られていました。	（宮殿）内の部屋、廊下、前廊、廻の数が多いばかりでなく、はなはだ巧妙に造られ、
	Son las piezas y camaras de dentro vn laberinto de Creta, todo hecho a proposito con gran ingenio:	são as camaras & casas de dentro hum laberintho[labirinto] de Creta, todo feito de preposito com subtileza de hum gentio.	são as casas & camaras de dentro hum laberinto de Creta, todo feito de preposito com sutileza de engenho,	As camaras, corredores, varandas e retretes que havia dentro, alem de serem muitos em numero, erão feitos por tal artifício que,
15	（ここから先は）もう何もないと思われるところに座敷が現れ、これに続いている一定の目的をもった別の部屋が次々に現れたのです。	何もないと思われるところに座敷【部屋もしくは宿泊所】があったからです。他の（部屋）もすべて、ある決められた目的で造られております。	何もないと思われる場所に彼らが座敷と呼ぶ非常に立派な部屋が現れ、その後に別の部屋があり、いずれも或る定まった目的で造られたものである。	もはや何もなく終わりであると思われるところで素晴らしい部屋があり、その後に第二の、また多数の他の注目すべき（物）が見出されます。
	porque donde parece no auer nada, alli se descubre vn laxaqui , y tras este otro, y otro, hechos para ciertas cosas.	porque a onde parece, não auer nada ali se descobre hum aposento riquissimo, a que elles chamão Jaxequi , & a pos este outro, & outro todos feitos pera certas & determinadas cousas.	porque aonde parece, não auer nada ali se descobre hum aposento riquissimo, a que elles chamão Jaxequi , & a pos este outro, & outro todos feitos pera certas & determinadas cousas.	aonde parecia não haver nada e que aquelle era o termo, alli se descobria huma camara fresquissima e apoz aquella outra e outras muito curiozas.
16	広間の最初の廊下は15ないし20の座敷へと至るのですが、これらは屏風—金彩の絵が描かれた幕のこと—で飾られた部屋であります。かけ金や釘はすべて純金でできていました。	一階には15もしくは20の「座敷」があり、すべて鍍金されている屏風【絵の壁】や、純金製の留め金や釘が備え付けられていました。	この一階には15、及至20の座敷があって、各種の屏風（黄金で飾った壁面である）を備えており、留め金や釘はことごとく純金製である。	私たちは広間の第一の廊下から、すべて絵画と鍍金した屏風で飾られた約20の部屋に入るのであり、人の語るところによれば、それらの幾つかは、内部においてはことに、他の金属をなんら混用しない純金で縁取られているとのことです。
	Enel primer corredor dela sala entran hasta quinze o veinte laxaquis , que son camaras adereçadas delos Beobus que son paños de pinturas de oro. Todas las cerraduras y clauaçon son de oro puro.	Neste primeiro andar da sala estarão alguns quinze ou vinte jaxequis com todos os beobus[panos de pintura quadras]douro, & todos os fechos, & cravacão douro puro.	Neste primeiro andar da sala estarão alguns quinze ou vinte jaxequis com todos os beobus (que são huns paincis cosidos em ouro) com todos os fechos e cravacão de ouro puro.	Do primeiro corredor da sala se entra em obra de 20 camaras todas ornadas de pinturas e beobus d'ouro, e dizião que a cravação de alguns delles mais interiores era de ouro puro sem mistura de outro metal.

段落	アルカラ版書翰集 (スペイン語) 訳:高木洋	リスボア国立図書館所蔵写本 (ポルトガル語) 訳:松本和也	エヴォラ版書翰集 (ポルトガル語) 訳:松田毅一・東光博英	日本史 (ポルトガル語) 訳:松田毅一・川崎桃太
17	これらの座敷のそばには、きわめて上質の材木でできた廊下がついた珍しい縁がいくつもあり、それは鏡として用が足せるほど磨きがかかつていました。	これらの座敷を、たいへん上等な木材で(造られ)、地面に触れんばかりの高さの縁が開んでおります。その板は鏡として使えるほどのもので、非常に輝いております。	これらの座敷の周囲には甚だ上等な木材で造られ、ほとんど地面に接するほど高さの縁があり、その板は鏡として使えるほど非常に輝いています。	その周囲にはきわめて上等な材木でできた珍しい前廊が走り、その厚板地は燐然と輝き、あたかも鏡のようありました。
	Cerca destos Iaxaqueis estan vnas varandas raras enel corredor de madera excellentissima: reluzentanto, que pueden seruir de espejos.	Cercão estes iaxequis humas varandas razas com o andar da terra de excellentissima madeira, & as tavoas são de maneira que podem servir de espelhos, que tanto reluzem,	cercão estes jaxequis hūas varandas rasas com o andar da terra de excellentissima madeira, & as tauoas são de maneira que podem servir de espelhos, que tanto reluzem,	Ao redor destas camaras estão humas varandas raras de madeira excellentissima, cujo pavimento das taboas reluzião de maneira que parecão espelhos,
18	縁の壁には、日本と中国の古い物語を描いた素晴らしい幕がかかっておりました。	縁の壁は日本と中国の古い物語(を描いた)たいへん優れた羽目板であります。	縁の壁は日本とシナの古い物語(絵を描いた)たいそう立派な羽目板である。	前廊の壁は、金地にシナや日本の物語(絵)を描いたもので一面満たされていました。
	Las paredes delas varandas tienen paños riquíssimos de historias antiguas de Iapon y de la China.	& as paredes das varandas de painéis requíssimos de historias antigas de Japão, & da China.	& as paredes das varandas de painéis requíssimos de historias antigas do Japão, & da China.	e as paredes das varandas em circuito estavão todas cheias de historias da China e Japão pintadas sobre campo d'ouro.
19	この縁の外側には5、6の美しい庭がありますが、すべてが珍しいもので、新しく、何か雪のように白いものでつくられており、小さな空間をなしています。	縁の外には、大変洗練され、すべてが珍しい[新しいもの]5つないし6つの庭があります。	縁の外には5つ、6つの庭があり、	この前廊の外に、庭と称するきわめて新鮮な4つ5つの庭園があり、その完全さは日本においてははなはだ稀有なものであります。
	Fuera destas varandas estan cinco o seys jardines excellentissimos, todos de mezuraxis , que es de cosas nueyas, y algunas niuas, que son plazetas:	Por for a destas varandas estão cinco ou seis iardins tudo de mesuraxis [cousas novas] excellentissimos,	Por fora destas varandas estão cinco ou seis jardins	Fora destas varandas havia 4 ou cinco jardins fresquissimos, a que chamão niivas, que para Japão era couza mui rara :
20	これらの庭のあるものには1パルモの深さで水が溜められており、その底には小石と雪白の砂が敷かれていて、	そのうち、いくつかの水の庭[広場]は、深さたった1パルモです。その(池の)底には砂利で雪のように真っ白に敷き詰められており、	その池の底には砂利と雪のように白い砂が敷き詰められ、	それらの幾つかには、1パルモの深さの池があり、その底には入念に選ばれた鏡のように滑らかな小石や目にも眩い白砂があり、
	y en algunas dellas ay agua de hasta vn palmo de alto, y por debaxo estan pedrezuelas y arena blanca como la nieve,	& algumas niuas[terreiros] destas de agoa podera ter hum soo palmo por baxo de seixinhos, & area branca como a neve,	tanques de agoa por baixo cheos de seixinhos & area brâca como a neue,	em algumas dellas havia agua de hum palmo de altura e por debaixo seixos limpissimos pequeninos e muito escolhidos e area muito branca,
21	たくさんの種類の魚が泳ぎ回っています。	そこを泳ぎ回る様々な種類の魚がたくさんおります。	各種の魚が多数(泳いで)いる。	その中には泳いでいる各種の美しい魚が多数おりました。
	y muchos peces de diuersas maneras, que por alli andan.	& muitos peixes de diversas maneiras, que os andão rodeando,	& muitos peixes fermozos de diversas especies que por alli andão,	e muitos peixes fermozos de diversas especies que por alli andão,
22	池の中央の表情豊かな石の上には、各種の薫り高い草花が生えていました。	様々な種類の花や香りのよい草木が、水[池]の中央(にある)鮮やかな岩に生えております。	池の中央の天然石には種々の香り高い花々や草木が生えている。	池の中の巖の上に生えている各種の花卉や植物がありました。
	Ay alli tambien toda la diuersidad de flores y yeruas olorosas que nacen en medio del agua en piedras viuas,	& toda a diversidade de flores, & eruas cheiroosas, que no meio da agoa nascem em pedras vivas.	& toda a diuersidade de flores, & eruas cheiroosas; que no meio da agoa nascem em pedras viuas.	muita diversidade de flores e hervas que nascem no meio d'agua em pedras.
23	その山からは水が豊富に流れ落ちていましたが、それはいくつかの広間に管で配水されており、美しい水口となって、他の場所でも家事のために思いどおりに使えるようになっています。	その山から大変良質の水が流れおり、それをせき止めて、管で分けていくつかの部屋にわき出るようにしています。他の(部屋)では手を洗うためであったり、また他の場所では宮殿の必要に応じて自由に使われたりしています。	同所の山からは極めて良質の水が流れおり、これをせき止め、管により幾つかの部屋にひいて泉にしているが、他の部屋では手を洗うためであったり、場所によっては宮殿の必要に応じて自由に使われている。	下の山麓に溜池があって、そこから水が部屋に分流しています。そこに美しい泉があり、他の場所にも、宮殿の用に思いのまま使用できる(泉があります)。
	Baxa de aquella sierra vna azequia de agua grande: la qual sereparte por caños en vnas camaras, donde ay lindas fuentes: y en otros lugares para seruicio de casa, todo como sepodria dessear.	Dece da mesma serra huma levada dagoa excellentissima, a qual represada, & repartida por canos em humas camaras serve desgichos. Em outras para lavar as mãos, & em outros lugares para o servico dos paços tudo a pedir por boca.	Dece da mesma serra hūa leuada dagoa excellentissima, a qual represada, & repartida por canos em hūas camaras serue de fontes, em outras para lauar as mãos, em outros lugares para o seruico dos paços tua pedir por boca.	Abaxo da serra está hum tanque d'agua que se reparte por camaras, onde há lindas fontes, e em outros lugares para serviço dos paços como se podia desejar.

段落	アルカラ版書翰集 (スペイン語) 訳:高木洋	リスボア国立図書館所蔵写本 (ポルトガル語) 訳:松本和也	エヴォラ版書翰集 (ポルトガル語) 訳:松田毅一・東光博英	日本史 (ポルトガル語) 訳:松田毅一・川崎桃太
24	2階には大部屋と奥方の部屋があり、その侍女たちの部屋もありますが、下の階よりずっと優れています。	宮殿の2階には（信長の）奥方の私室と部屋、及び侍女たちの部屋があります。（それらは）階下よりもはるかに優れています。	宮殿の2階には（国主の）奥方のいくつかの私室と諸々の部屋、および侍女らの部屋がある。階下よりも遙かに優れ、	二階には婦人部屋があり、その完全さと技巧では下階のものよりはるかに優れています。
	Enel segundo sobrado estan las quadras y camaras de la Reyna , y aposentos de sus damas , muy mas auentajado que el de abaxo:	No segundo sobrado o andar dos paços estão os retretes e camaras da raynha , & aposento das damas muito mais avantejado que o debaxo,	No segundo sobrado no andar dos paços estão os retretes & camaras da raynha , & aposento das damas muito mais auantajado que o de baixo,	No segundo sobrado estão os apouzentos das damas muito mais aeventajados no primor e feitio que o debaxo,
25	座敷にはすべて錦の幕が下がり、山側と同じように町の側にも多くの縁と見晴らし台がついています。	全ての座敷の周囲には金襷の布が張られ、市の側にも山の側にも縁と見晴らし台があります。	どの座敷も周囲に金襷の幕を張り、市の側にも山の側にも縁と見晴らし台があって、	部屋には、その周囲を取り囲む前廊があり、市の側にも山の側にもすべてシナ製の金襷の幕が懸り、
	colgados todos los Ixequies de paños de brocado, con muchas varandas y miradores, assi para la parte dela ciudad como de la sierra,	cercados todos os iaxiquins, por derrador de panos de bordado com mil varandas & miradouros, assi para a parte da cidade como da serra,	cercados todos os Jaxequis, por derredor de panos de bordado com varandas & miradouros, assi para a parte da cidade como da serra,	e tinhão as camaras em roda humas varandas que as cercavão, cubertas todas em circulo de cortinas feitas de bordado da Ohina, assim da parte da cidade como da serra,
26	そこには日本で望みうる限りの鳥の音楽、鳥の美があります。	そこでは、小鳥がさえずり、日本で望みうる鳥の美があります。	山にはあらゆる小鳥の音楽と日本で望みうる限りの鳥の美が備わっています。	(山の側では)小鳥のあらゆる音楽(が聞こえ)、きわめて新鮮な水が満ちた他の池の中では鳥類のあらゆる美を見るることができます。
	a do ay toda la musica de paxaros y hermosura de aues que en Iapon se pueden dessean.	onde ha todo cantar de passaros , & fermostra de aves, que em Iapão se pode deseiar.	onde ha toda a musica de passaros , & fermostra de aues, que em Japão se pode desejar.	aonde há toda a muzica de passarinhos e fermoza de aves em outros tanques de agua fresquissimos.
27	三階は山側へと通路で水平につながっていて、茶と称する粉末でできたものを飲む立派で美しい部屋、すなわち茶の座敷[茶室]があります。	山の高さに達する三階には、たいへん静かなところに「茶」の「座敷」がいくつかあります。	山の高さに達する3階には甚だ清閑な場所に茶の座敷が幾つかあり、それらは美しく欠けるところなく整っているが、	三階は山と同じ高さで、一種の茶室が付いた廊下があります。
	Enel tercero sobrado, que va igual con la sierra enel corredor tiene sus Iaxequis del Cha, que son vnas camaras las mejores y mas ricas, enlas quales toman vnos poluos que se llaman Cha.	No terceiro sobrado que vay ter tambem com o andar da serra , tem os seus iaxiquins Docha, em lugares de grande tranquillidade, & quietacão.	No terceiro sobrado que vai ter tambem com o andar de serra , tem os seus Jaxequis do cha, em lugares de grande tranquilidade, & quietação.	No 3.º sobrado, que vai igual com a serra , tem hum corredor com certas camaras de chá:
28	これらは非常に落ち着いていてまったく騒音なく、その完璧と調和は私が見てきたものすべてに関して、これを超えるものがまったくないということは疑いありません。	それらの精巧さ、完璧さ、(その)装飾は疑いもなく（すばらしく）、少なくとも私には（これを説明する）能力が及ばず、同様のものを見たことがありませんので、称賛する言葉もありません。	(これを描写するには)少なくとも私の能力の及ばぬことは明白で、かつてこのような物を見たことがないので賞賛の言葉もない。	それは特に精選されたはなはだ静かな場所で、なんら人々の騒音や雑踏を見る事なく、静寂で非常に優雅であります。
	Son lugares muy quietos, sin ningun ruydo, cuyo primor, perfeccion y concierto, sin duda ninguna excede a quanto he visto.	O primor, perfeição, & concerto delles, sem duvida que ao menos excede minha capacidade, nem tenho palavras para o encarecer, porque nao tenho visto cousa semelhante.	o primor, perfeição, & concerto delles, sem duvida que ao menos excede minha capacidade, nem tenho palavras para o encarecer, porque nao tenho visto cousa semelhante.	são logares de propózito muito quietos e sem nenhum ruído nem perturbação de gente, solitários e muito amenos.
29	3階と4階の見晴らし台からは町の全体が見えますが、	3、4階の見晴らし台と縁からは全市が一望できます。	3階および4階の見晴らし台と縁の所からは市が見える。	3、4階の前廊からは全市を展望することができます。
	Delos miradores y varandas del tercero y quarto sobrado, se descubre toda la ciudad,	No andar dos miradouros, & varandas do terceiro & quarto sobrado se descobre a cidade toda,	No andar dos miradouros, & varandas do terceiro & quarto sobrado se descobre a cidade,	Das varandas do 3.º e 4.º sobrado se descobre toda a cidade.

段落	アルカラ版書翰集 (スペイン語) 訳:高木洋	リスボア国立図書館所蔵写本 (ポルトガル語) 訳:松本和也	エヴォラ版書翰集 (ポルトガル語) 訳:松田毅一・東光博英	日本史 (ポルトガル語) 訳:松田毅一・川崎桃太
30	そこはすべて武将や主だった貴人が所有する新築の家々でした。宮殿を出たところの非常に長い通りは、政庁の人々や奉公人の家のみで、他の人の家は含まれておりません。	身分の高い貴人と主だったものすべてが、宮殿を出てすぐの大変長い通りに自身の家を新築しており、政庁に仕える者以外（の人の家）は全く混じっておりません。	身分高き貴人や重立った人々が皆、宮殿を出てすぐの甚だ長い通りに各自の屋敷を新築しており、彼（国王）の宮廷に仕える者以外の人の家は一軒も混じっていない。	-
	y donde todos los caualleros y personas nobles principales tienen de nuevo hecho sus casas , en saliendo delos palacios en calles muy largas, sin se mezclar con la otra gente, sino solamente la de la corte y su seruicio.	& todos os fidalgos nobres, & pessoas principaes tem de novo feitas suas casas , logo em saindo dos paços em ruas muy compridas sem se mesturar outra nenhuma gente alli mais que ha da corte de seu servicio,	& todos os fidalgos nobres e pessoas principaes tem de novo feitas suas casas , logo em saindo dos paços em ruas muito cōpridas sem se mesturar outra nenhūa gente ali mais que a da corte de seu seruicio,	-
31	その後彼は、寵愛している者たち2、3人とともに、私とロレンソに茶の座敷を見せました。それらには不思議なほど工夫を凝らした別の部分[庭]が付属していました。	その後、彼[信長]は私（のほかに）、ロレンソと寵臣2、3人だけを連れて、工夫を凝らした別の「庭」のある「茶」の「座敷」を私たちに見せました。	その後、彼は私のほか、ロレンソと最も寵愛している2、3名の家臣のみを伴って、はなはだ工夫を凝らした庭のある茶の座敷を我らに見せた。	その後、彼は、ロレンソ修道士と私を、2、3人の特別な寵臣とともに伴って、茶の湯の室、及び彼が同所で所蔵していた他の高価な品を見せました。
	Despues desto melleuo a mi y a Lorenzo con solos dos o tres de los suyos mas priuados, a mostrarnos los Iaxequis del Cha con otras piecas de estrañas inuençoes.	depois me levou a mym somente com Lourenço, & dous ou tres destes seus mais privados, mostar nos os iaxequins docha com outras niuas de estranha inuençao,	Depois me leuou a mim somente com Lourenço, & dous ou tres destes seus mais privados, mostrarnos os Jaxequis do cha com outras niuas de estranha inuençao,	Depois disto nos levou ao Irmão Lourenço e a mim, com outros dous ou tres dos seos mais privados, a mostrar-nos as camaras de chanoyú e outras peças suas ricas que lá tinha guardadas.
32	下の一階にある座敷に戻ると、彼は籠一杯の物を持って着飾った一人の小男にくるように命じました。	下の一階の「座敷」に戻りますと、彼は大変小さな男に来るよう命じました。（その男は）顔や声が極めて大きく、豪華な衣装をまとっておりました。	下の一階の座敷に戻ると、彼は一人の非常に小さな男に来るよう命じた。	私たちが下の一階の部屋に戻りました後、彼は一人の非常に小さく華麗な衣服をまとった小男を
	Tornandonos a los Iaxequis del primer sobrado de abaxo, mando venir a vn enano muy pequenito vestido ricamente, al qual traxeron metido en vn cesto:	tornando aos iaxiquins do primeyro sobrado debaixo mandou vir hum anão muito pequeno, de grandissimo rosto & voz, vestido zicamente,	Tornando aos Jaxequis do primeiro sobrado de baixo mandou vir hum anão muito pequeno, & de grandissimo rosto & voz, vestido ricamente,	Tornando nós às camaras do primeiro sobrado de baxo, mandou vir hum anão muito pequenino vestido ricamente,
33	その男は踊り歌いましたが、人びとにとっては少なからぬ慰めになりました。	すぐさま（その男は）籠に乗せられて、そこにやってきました。そして、踊ったり歌ったりしましたが、同席の者達には少なからず娯楽になりました。	すぐさま籠に乗せられ運ばれてきた。彼はその人に踊ったり歌わせたりしたが、同席していた人々にとって少なからず娯楽になった。	駕籠に乗せて連れてきて、踊ったり歌わせたりしましたが、同席の人々には大いに慰めとなりました。
	hizole dançar y cantar, que no fue para los que le veyamos pequeño passatiempo.	que logo ally trouxerão dentro num sesto & fello dançar & cantar, que não foi pera os circunstantes pequeno passatempo.	que logo ali trouxerao dentro em hum cesto: & felo dançar & cantar, que não foi pera os circunstantes pequeno passatempo.	ao qual trouxerão metido em hum cesto. Fê-lo dançar e cantar que não foi para os circunstantes pequena recreação.
34	彼は一階広間の別の縁に出て座りましたが、ここには私たちに供された砂糖菓子その他の食べ物がありました。	そこから最初の部屋の縁に出て座わりますと、そこにはすでに鍍金した多くの小箱に（入った）大きな食籠があり、彼はこれらを私達全員に勧め、	同所から彼は第一の広間の縁に出て座ると、そこにはすでに幾つかの大きな籠や金を塗った多数の小箱があり、これを我ら全員に供し	彼はそこから出て、第一の広間の他の前廊に行き、そこで各種の、私たち（ヨーロッパ）のものとは異なった食物を私たちに供しましたが、それは彼らの様式では甘い物からなるオヤツに相当しました。
	De alli salio a otras varandas dela primera sala, y assentandose, estauan alli conseruas y otras cosas de comer, de que nos dio.	Daly sayo pera outras varandas da primeira sala, & assentandose estauão ja ally grandes Giquiros em muitas bocetas douradas com que a todos nos convidou,	Dali saio pera outras varandas da primeira sala, aonde nos convidou com diversas couzas de comer diferentes das nossas, que ficavão em seo modo respondendo a merenda de couzas doces,	
35	こうしてその日の午後、彼は私たちを見送って（別れた）のです。	こうして午後私達と別れました。	かくして同日午後、我らに別れを告げた。	そして以上のことで、彼は同日の午後、私たちと別れました。
	Y assi nos despidio aquella tarde.	& assi nos despedio aquella tarde.	& assi nos despedio aquella tarde.	e assim nos despedio aquella tarde.